

解体予定の校舎を使用したブリーチング訓練を実施

日時：令和2年6月16日（月）から19日（金）

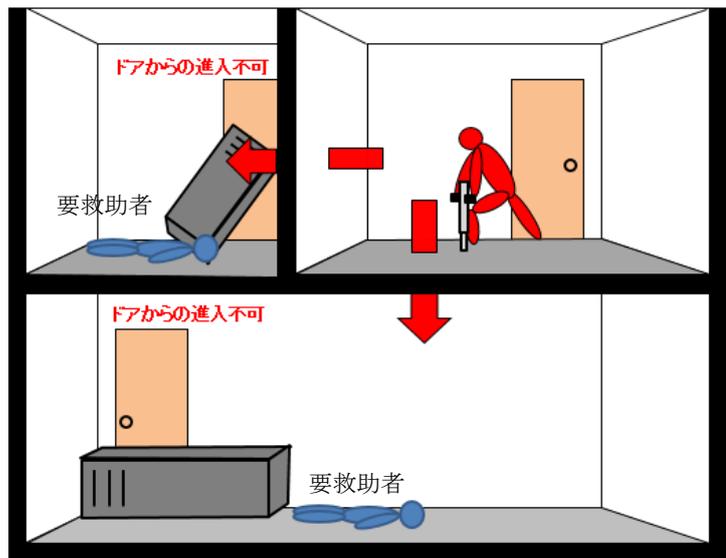
- ・実施場所 紀の川市桃山町善田（桃山中学校）
- ・訓練目的 倒壊した建物内部から要救助者を救出するために必要な、進入・救出口の確保技術を一人でも多くの職員が共通の認識を持ち、有効かつ適切な現場活動能力の向上を図ることを目的に実施しました。

訓練想定図

ブリーチングとは、床・壁等の鉄筋コンクリートを破壊する手法のことです。

大規模自然災害などにより建物が倒壊し開口部が失われた状態において、コンクリートを破壊しなければ進入や救出ができない場合などに用いられる手法になります。

また、ブリーチングには、クリーンブリーチングとダーティーブリーチングの2種類の手法があります。



要救助者：（助けが必要な人）

【クリーンブリーチング】

クリーンブリーチングとは、開口部付近に要救助者がいる場合、コンクリート片や落下物を最小限にしながら開口部を設定する手法になります。

① サーチングホールの設定

サーチングホールとは、内部の要救助者の検索、環境確認を行う最初の作業であり、状況に応じて活動内容を判断する作業になります。



- ② カuttingラインの設定
エンジンカッターを使用し、コンクリートをカットするためのラインになります。



エンジンカッター

コンクリートや石材、金属などの切断に使用される機械



- ③ カutting作業
カuttingラインに沿って升目状にカuttingしていきます。



- ④ カutting終了後、電動ハンマーを使用し、コンクリートを剥がしていきます。



電動ハンマー

コンクリートや石材などを打撃力で砕く時に使用される機械



- ⑤ 中心部にコンクリートの脱落防止の為、木材で固定します。



- ⑥ 開放完了



【ダーティーブリーチング】

ダーティーブリーチングとは、開口部付近に要救助者がいない場合に可能な限り迅速に開口部を設定する手法になります。

- ① クリーンブリーチングと同じく、サーチングホールの設定後、要救助者の確認を行います。



- ② 壁の反対側に要救助者がいないの確認後、電動ハンマー及びハンマーを使用し壁を破壊します。



今後も、実災害を想定した訓練を積極的に取り入れ、各種災害における知識、技術、体力の向上に努めてまいります。